

景気景況調査報告

(第36回)

令和6年	10～12月期	実績
令和7年	1～3月期	見通し

令和7年2月

名寄商工会議所

I 調査要領

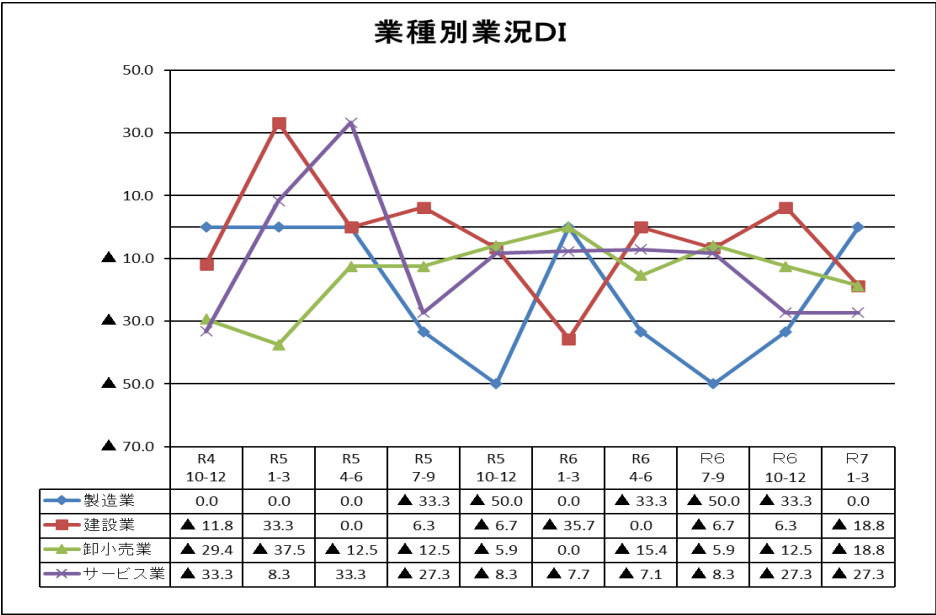
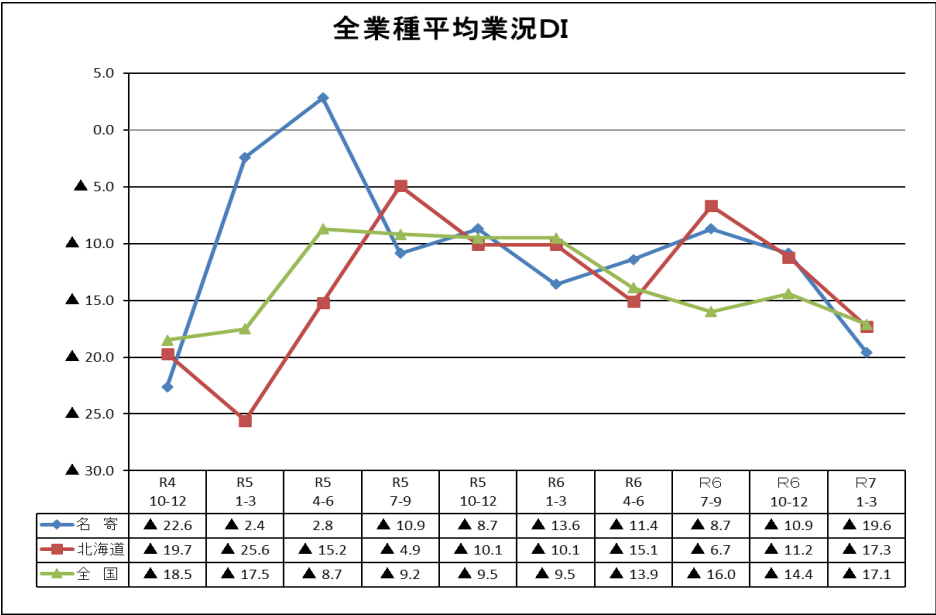
- ①調査対象期間

令和6年10～12月期の実績及び令和7年1～3月期の見通し
- ②調査内容

製造業、建設業、卸小売業、サービス業の4業種に分類し、売上高、採算、仕入、販売、従業員、業況、資金繰りの7項目について調査を実施。
- ③調査対象

当所会員企業（メール・FAX・Google Formで協力願い） 120社

II 調査結果



※ D I：「好転」の回答企業と「悪化」の回答企業の差

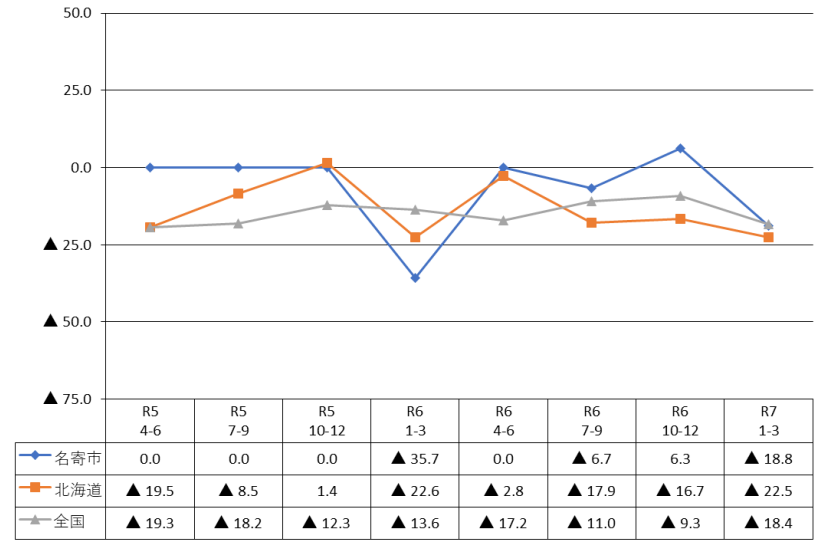
- ・ 今期、全業種平均で-10.9ポイントと前回調査と比べて2.2ポイント減少となっており、前回の見通し(-13.0ポイント)までは減少しなかったが北海道・全国と比べ最もD I値が減少している。
- ・ 見通しでは今期と比べ、さらに減少することが見込まれ-19.6ポイントとなっている。
- ・ 北海道（道商連調査）の景気を比較すると、今期 0.3ポイントプラスとなり、前回に比べ差は小さくなり、わずかであるが名寄が上回った。
- ・ 全国（日商調査）の景気を比較すると、今期は 3.5ポイントプラスとなっているが、見通しでは全国より下回ることが見込まれている。
- ・ しかし業種によっては物価高騰や原油価格高騰等により、今後さらなる業況悪化が見込まれる。

業種別業況DI

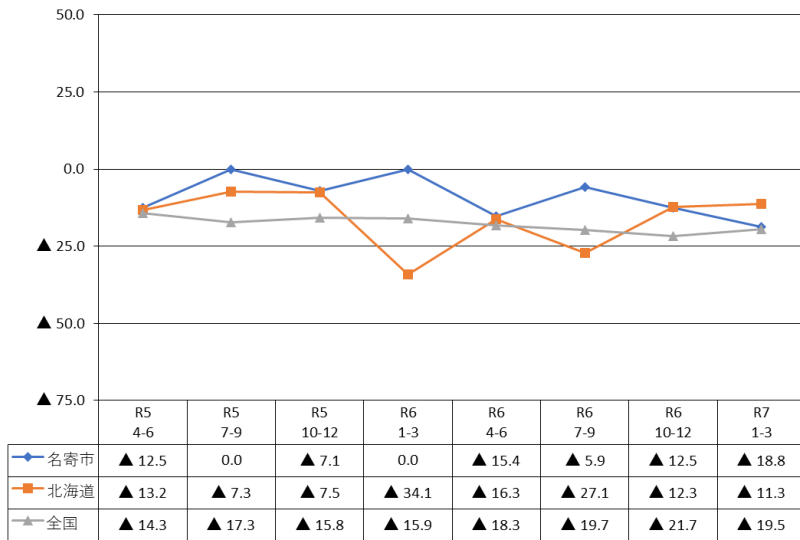
製造業 業況DI



建設業 業況DI



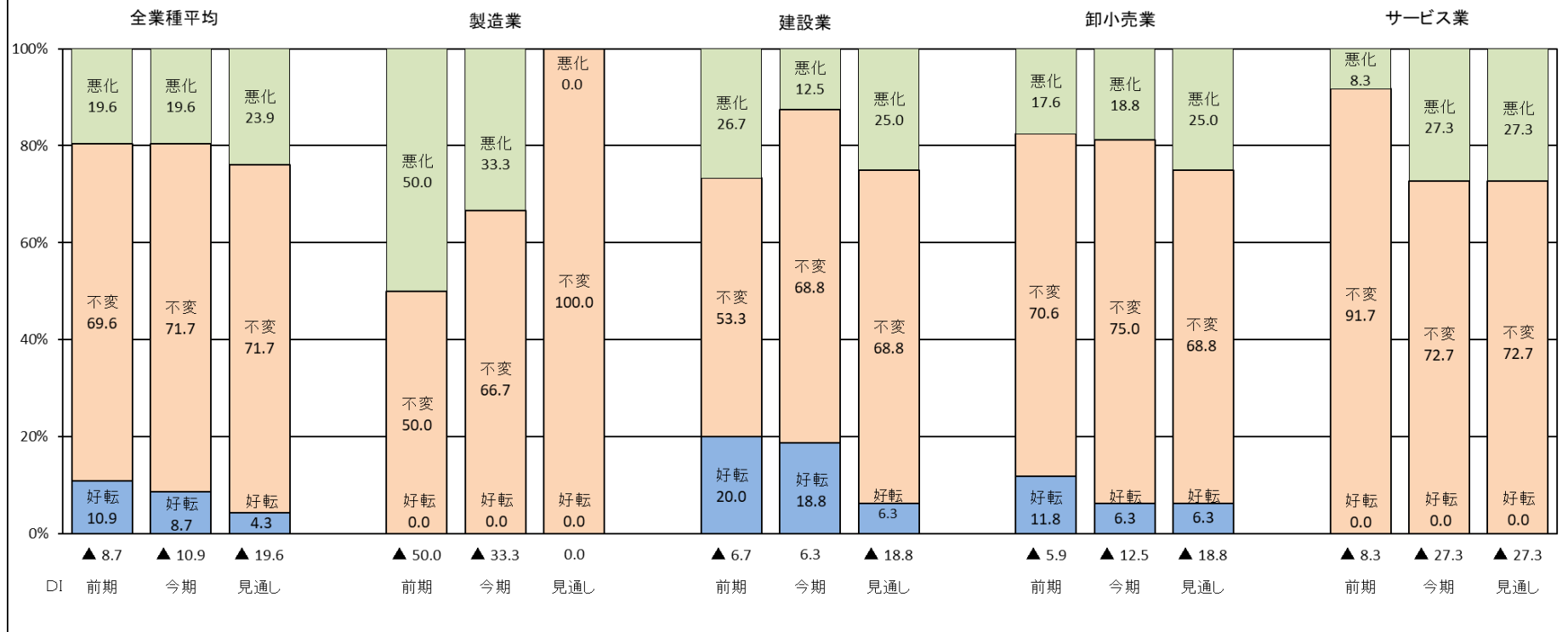
卸小売業 業況DI



サービス業 業況DI



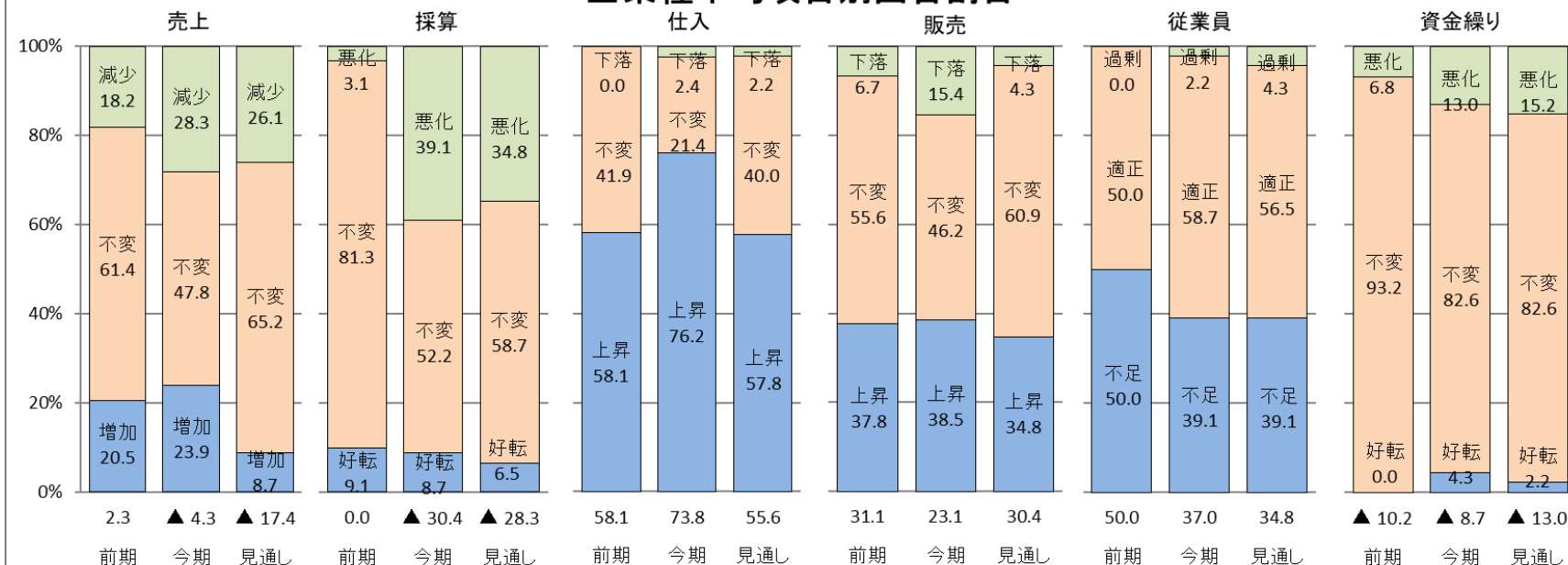
業種別業況回答割合



※D I：「好転」の回答企業と「悪化」の回答企業の差

- 全業種平均～** 今期は前期より、好転が減少したことでD I 値が減少している。
見通しでは、好転数が減少し悪化が増えたことにより、さらにD I 値が減少することが見込まれる。
- 製造業～** 今期は前期と比べ、悪化が減少し不変が増加した。
見通しでは不変と答えたところが100%となり、D I が0となることが見込まれる。
- 建設業～** 今期は前期に比べ、「好転」「悪化」がともに減少しており、差が小さくなったことによりD I 値が6.3に増加。
見通しでは「不変」と回答した事業所が約7割であることは変化がなかったが、「悪化」が増えることが見込まれる。
要因として、続いている円安や原料高、物価高騰等が挙げられる。
- 卸小売業～** 今期は前期に比べ、「悪化」が1.2%増加し「好転」が4.5%減少しており、D I が-12.5ポイントと減少した。
見通しではさらに「悪化」が増加し、D I が下落することが見込まれる。
- サービス業～** 今期は前期に比べ、「不変」が減少し「悪化」が大きく増加している。また前期に続き「好転」は0%であった。
全体的に仕入運賃増加・求人難・仕入単価増加・原油価格高騰・物価高騰等々のマイナス面が挙げられているが、コロナ禍等が落ち着き徐々に客足が以前よりも伸びてきているとプラス面も挙げられる。

全業種平均項目別回答割合



売上 D I [下落の要因]

今期が-4.3ポイントと前期より6.6ポイント下落している。見通しでは、さらに下落することが見込まれる。
・資材の値上げ ・物価高に伴う販売価格の上昇

採算 D I [下落の要因]

今期-30.4ポイントと前期より-30.4ポイント下落となっている。前期より悪化が大幅に増加し、見通しでは「悪化」が減少し、D Iが上昇することが見込まれる。
・資材の高騰 ・メーカーの大幅値上げ ・原油価格の高騰

仕入 D I [上昇の要因]

今期73.8ポイントと前期より15.7ポイント上昇。見通しでは不変が増加するため、D Iが下落することが見込まれる。
・仕入運賃の増加 ・原材料の上昇 ・原油価格の高騰

販売 D I [下落の要因]

今期23.1ポイントと前期より8.0ポイント下落となっている。見通しでは「悪化」が減少するためD Iの回復が見込まれる。
・原材料の上昇 ・メーカー値上げ ・製造コスト上昇

従業員 D I [不足の要因]

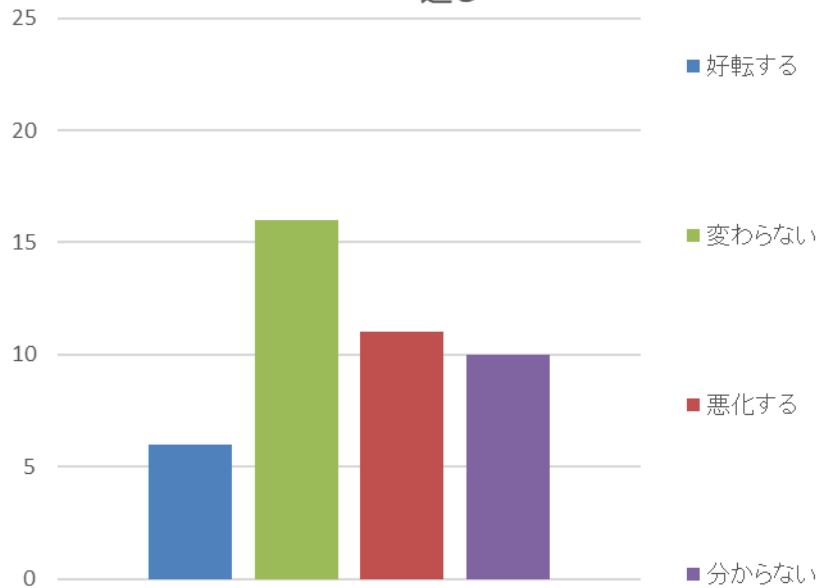
今期37.0ポイントと前期より13.0ポイント減少。しかし「不足」と回答した割合が39.1%と減少している。また前期では回答のなかった「過剰」と答えた事業所もあった。
・高齢化 ・人口減少 ・若年層の不足 ・求人難 ・退職者増 ・仕事量の減少 ・職人不足

資金繰り D I [上昇の要因]

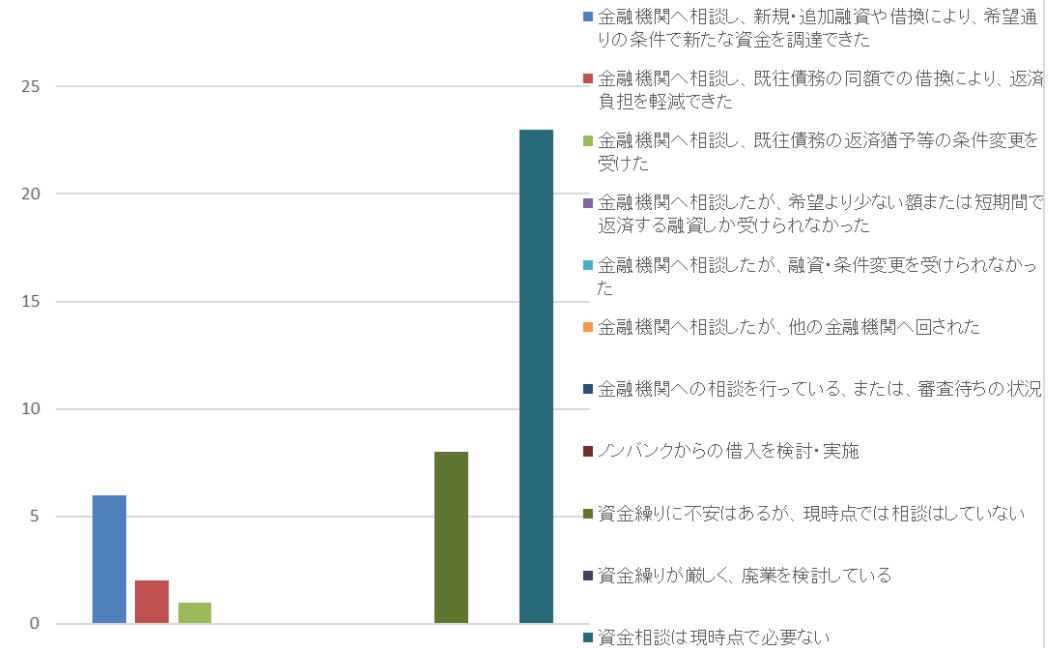
今期は「好転」・「悪化」とともに増加しており-8.7ポイントと前期より1.5ポイント上昇となっている。見通しでは今期がと比べ「悪化」の増加が見込まれD I下落が見込まれる。
・公共事業の増加 ・冬季事業の開始

付帯調査①

昨年と比較した、今年(2025年)の貴社の業況の見通し

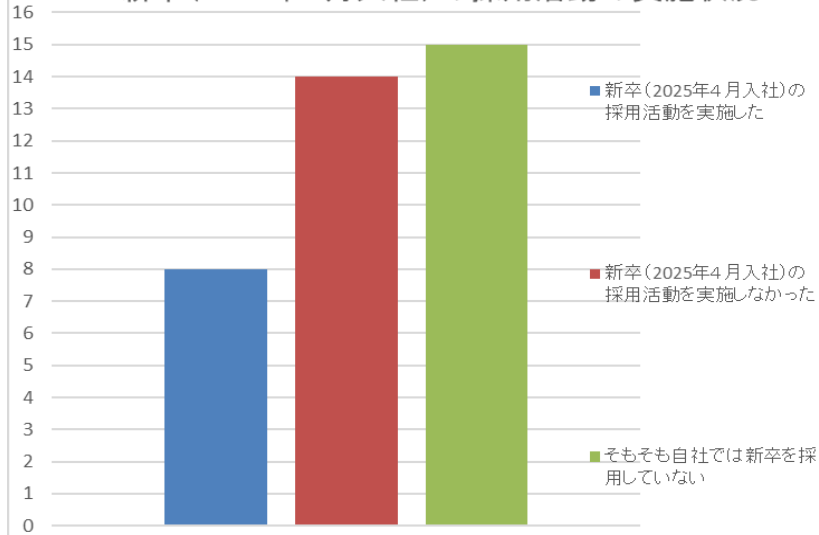


年度末に向けた貴社の資金繰りの状況

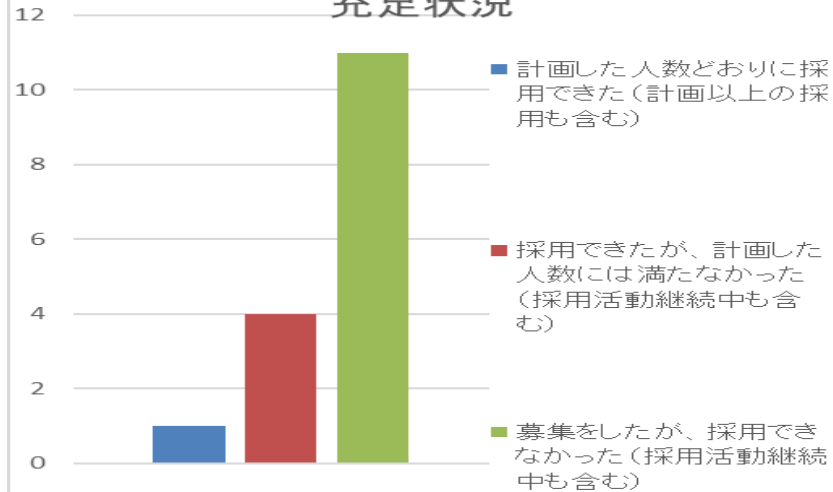


付帯調査②

新卒(2025年4月入社)の採用活動の実施状況



採用計画に対する新卒採用の充足状況



新卒(2025年4月入社)の採用活動にあたり、取り組んだ事項

